こどもまんなか
こども家庭庁

令和8年11月27日
こども家庭庁

令和8年度 第4回「未来をつくる こどもまんなかアワード」内閣総理大臣表彰及び内閣府特命担当大臣表彰の受賞者が決定

こども家庭庁では、「こどもまんなか社会」の基本理念の実現に向け、この基本理念に沿う取り組みや活動への国民の理解を増進させるとともに、活動をより活性化させることを目的に、活動を実施する団体又は個人を2つの部門で表彰しています。

このたび、令和8年度「未来をつくる こどもまんなかアワード」の受賞者が決定し、中司内閣府特命担当大臣から表彰が行われました。こどもや若者の健やかな成長を支え、誰もが安心して暮らせる社会づくりに貢献する先進的な取組として選ばれた受賞者を、以下のとおりご紹介します。



1. 表彰の種類及び受賞者

（1）. 未来をつむぐ「こども・若者」部門

こども・若者自身（団体又は個人）を表彰

内閣総理大臣表彰	福井県立敦賀高等学校　創生部
内閣府特命担当大臣表彰	ふじゼミ
こども・若者活動奨励賞	Teen support room 沖種

（2）. 未来へつなぐ「応援団」部門

こども・若者、子育て家族等の支援者である団体又は個人を表彰

内閣総理大臣表彰	特定非営利活動法人 ふうせんの会
内閣府特命担当大臣表彰	特定非営利活動法人 いとしま児童クラブ
	国際子育てひろば「コアラ」
こども・若者活動奨励賞	一般社団法人umau.
	株式会社オトギボックス

2. 選考： 都道府県等から推薦いただき、2回の選考委員会で選考

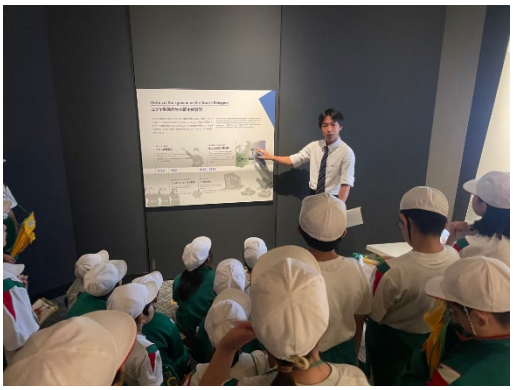
選考委員会

石田　陽彦【委員長】	関西大学人間健康学部　教授
氏家　秀徳	一般財団法人日本青年館　公共事業部事業課主任
加藤　早耶香	特定非営利活動法人全国こども福祉センター つながる通信編集長・現場担当者
鈴木　晶子	特定非営利活動法人パノラマ　理事
鈴木　顕	朝日新聞出版 AERA with Kids　編集長
田中　れいか	一般社団法人たすけあい　代表理事
新田　香織	社会保険労務士法人グラース　代表
吉田　ゆかり	特定非営利活動法人未来ISSEY　代表理事
米田　佐知子	子どもの未来サポートオフィス　代表

3. 各団体の取り組み

(1). 未来をつむぐ「こども・若者」部門

福井県立敦賀高等学校創生部（内閣総理大臣表彰）
所在地：福井県敦賀市　代表者：部長　北野　結菜



コロナ禍における差別や偏見への問題意識から生徒自らが団体を立ち上げ、「誰もが安心して暮らせる社会」の実現を目指して探究活動を展開している。

郷土の歴史である「人道の港つるが」を学びの起点とし、「人道の港敦賀ムゼウム」（資料館）でのガイド活動を継続的に実施し、地域の小学生から海外の外交官まで幅広い相手に歴史や平和の大切さを発信している。

高校生が主体となり、地域・行政・企業・海外関係者を巻き込みながら、歴史を未来の平和と共生につなげる実践的な活動を続けている。

ふじゼミ（内閣府特命担当大臣表彰）
所在地：北海道札幌市　代表者：代表　藤澤　義博

「マナビでミライを変えていく。」を理念に、北海道内の大学生・専門学校生が大学や地域の枠を越えて集い、AIやデジタル技術、プログラミング、アントレプレナーシップを実践的に学ぶ大学横断型コミュニティ



学生が学び手にとどまらず、小中学生向けのデジタルキャンプやプログラミング教育の担い手として地域に学びを還元する「学びの循環」を実現している。

広大な北海道の特性を生かし、オンラインと対面を組み合わせながら全道各地で活動を展開し、地域間の教育格差解消にも取り組んでいる。

（2）. 未来へつなぐ「応援団」部門

特定非営利活動法人　ふうせんの会（内閣総理大臣表彰）
所在地：大阪府大阪市　　代表者：代表理事　喜多　正輝

全国に先駆け、社会的認知が進む前からヤングケアラー支援に取り組み、家族のケアを担うこども・若者の孤立を防ぐ居場所づくりと相談支援を一体的に実施。

元ヤングケアラーと福祉専門職が協働し、当事者の経験に基づくピアサポートを軸に支援を展開している。同じ経験を持つ仲間との交流や気持ちの共有、将来への展望を得る機会を提供するとともに、支援を受けた当事者が支援者（ピアサポーター）として活動に参画する循環を生み出している。

現役に加え元ヤングケアラーも対象とし、委託事業と自主事業を連携させながら、18歳前後で途切れない切れ目のない支援を実践し、制度の狭間にある課題にも向き合う先駆的な取組を続けている。



特定非営利活動法人　いとしま児童クラブ（内閣府特命担当大臣表彰）
所在地：福岡県糸島市　　代表者：理事長　江頭　晶子

不登校や学校に居場所を見いだしにくいこども、経済的な困難を抱える家庭のこどもなどを対象に、平日日中いつでも無償で利用できる居場所を運営し、食事も無償提供している。

保護者相談や茶話会を通じて家庭の孤立防止にも取り組み、こどもと保護者を包括的に支える地域ぐるみの支援を実践

誰もが安心して過ごせる居場所づくりを通じて、こどもの健やかな成長と地域とのつながりの創出に貢献している。



国際子育てひろば「コアラ」（内閣府特命担当大臣表彰）
所在地：神奈川県川崎市　　代表者：代表　米澤　悦子

日本人親子と外国人親子との交流を通じ、互いの文化や価値観に触れながら国際理解や共生意識を育む機会を提供している。

30年以上にわたり活動を継続し、これまで42か国の親子が参加するなど、全国的にも先駆的な多文化共生の子育て支援を実践している。

季節行事や各国の文化を体験できる交流企画を通じて、日本人親子にとって世界を身近に感じられる学びの場を創出するとともに、地域における多文化共生社会の実現に大きく貢献している。



受賞者と中司内閣府特命担当大臣との記念撮影

（1）. 未来をつむぐ「こども・若者」部門：こども・若者自身（団体又は個人）を表彰



内閣総理大臣表彰
福井県立敦賀高等学校 創生部



内閣府特命担当大臣表彰
ふじゼミ

（2）. 未来へつなぐ「応援団」部門：こども・若者、子育て家族等の支援者である団体又は個人を表彰



内閣総理大臣表彰
特定非営利活動法人ふうせんの会



内閣府特命担当大臣表彰
特定非営利活動法人いとしま児童クラブ



内閣府特命担当大臣表彰
国際子育てひろば「コアラ」

【本件連絡先】
こども家庭庁支援局虐待防止対策課
TEL（代表）03-6771-8030
（直通）03-6859-0116
担当：北川、草場、小林